

秋山郷地域づくり協議会の これまでとこれから

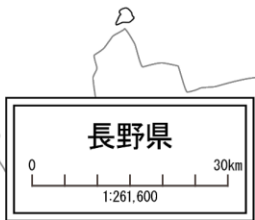
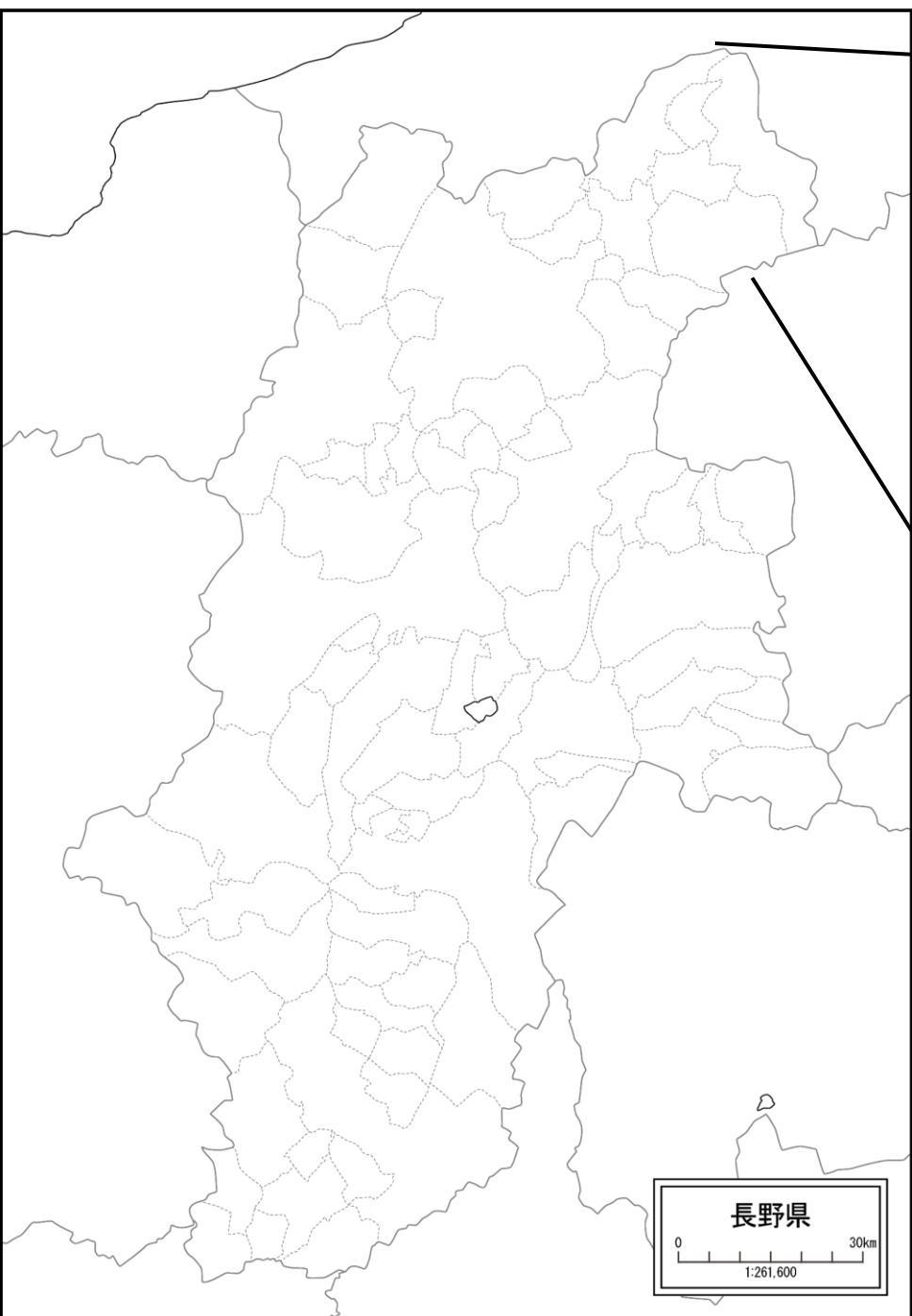
秋山郷地域づくり協議会
令和6年度事務局 越智勇気

目次

- ・ 秋山郷ってどんなところ？
- ・ なんで協議会ができたのか？
- ・ なんで農村RM0推進事業を活用したのか？
- ・ 3年間の活動
- ・ 活動を継続するにあたって（課題など）
- ・ そしていま

目次

- ・ 秋山郷ってどんなところ？
- ・ なんで協議会ができたのか？
- ・ なんで農村RM0推進事業を活用したのか？
- ・ 3年間の活動
- ・ 活動を継続するにあたって（課題など）
- ・ そしていま



東京から
車で
3時間



最寄り駅は
越後湯沢



冬季は栄村役場に行くにも
新潟県を通る
しかない！



人口：157人（R6.4月時点）

栄村全体では1550人程度

集落数：5集落（うち1集落は旅館3件）

高齢化率：72.6%（65歳以上114名）

15歳以下：1名（R7.4月時点）

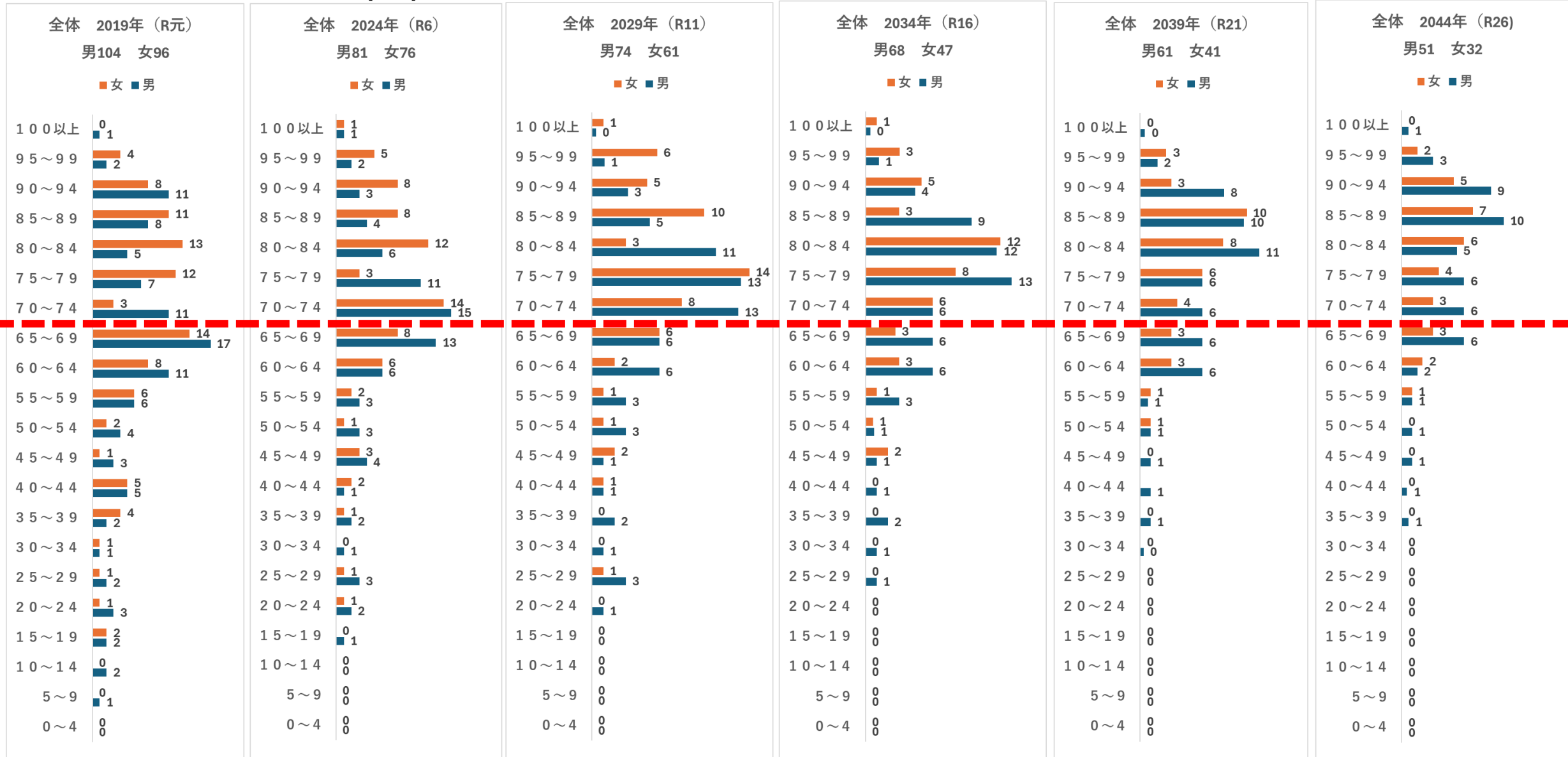
最大積雪量：大体毎年3メートルぐらい

産業：観光と自給農業、キノコや山菜採り

現在 (R6)

10年後

20年後



推計はコーホート変化率+アテ (人口が少ないと1人増加した時の変化率が高くなるため)

秋山郷のイメージって・・・？

秘境（バブル～平成初期は秘境ブームに沸いた）

紅葉

苗場山登山（100名山）

溪流釣り

焼畑の里

マタギの里

鈴木牧之（江戸時代の作家。ベストセラー『秋山記行』を書いた）

平家の落人の里

湯治場







苗場山にぜひお越しを！
7月中下旬がおすすめです。









目次

- ・ 秋山郷ってどんなところ？
- ・ **なんで協議会ができたのか？**
- ・ なんで農村RM0推進事業を活用したのか？
- ・ 3年間の活動
- ・ 活動を継続するにあたって（課題など）
- ・ そしていま

平成30年2月22日

準備会の設立

秋山郷の地域づくりをみんなで考える場を作りたい、という思いから「秋山郷地域づくり協議会 設立準備会」設立。

※このころ小学生も0人になり住民が大きく関わりイベントなども行っていたPTA活動がなくなる

令和2年6月

秋山区長会の解散

行政との橋渡しを行っていた5集落全体の区長会が高齢化による負担増により無くなった。村に要望があげられなくなる問題が！

※栄村では集落＝区とみなしおおよそ30区に分かれている。

令和3年5月16日

区長会の役割と会計を引き継ぐ形で、「秋山郷
地域づくり協議会」設立

秋山地区としての毎年の役場への要望活動のほか、アンケートなどの意見集約

目次

- ・ 秋山郷ってどんなところ？
- ・ なんで協議会ができたのか？
- ・ **なんで農村RM0推進事業を活用したのか？**
- ・ 3年間の活動
- ・ 活動を継続するにあたって（課題など）
- ・ そしていま

一番の発端はジビエ加工施設を設置して、秋山郷の地域活性につなげたいという思いを持った方がいたから。

肉と共に内外に文化を発信

マタギ文化や地域の文化の継承

民宿等の再活性化

⇒ひいては関係人口・人口増などにつなげる…

⇒補助金の申請へ

目次

- ・ 秋山郷ってどんなところ？
- ・ なんで協議会ができたのか？
- ・ なんで農村RM0推進事業を活用したのか？
- ・ **3年間の活動**
- ・ 活動を継続するにあたって（課題など）
- ・ そしていま

1. 将来ビジョン（R4 年度作成）

【将来ビジョン】

（持続する協働の里）伝統文化、秋山らしさを大切にし、人、経済を活発にする希望溢れる村づくり。

【農用地保全】

農用地図を基に、利用する農地、利用しない農地の取捨選択を行い、耕作者が肉体的、精神的に苦勞せず、楽しく耕作ができる山里を目指す。

【地域資源活用】

地域資源を活用した経済活動を行い、また、地域らしさを売りにすることにより、関係・交流人口増を図り、地域の人口を増やし、持続可能な村づくりを目指す。

【生活支援】

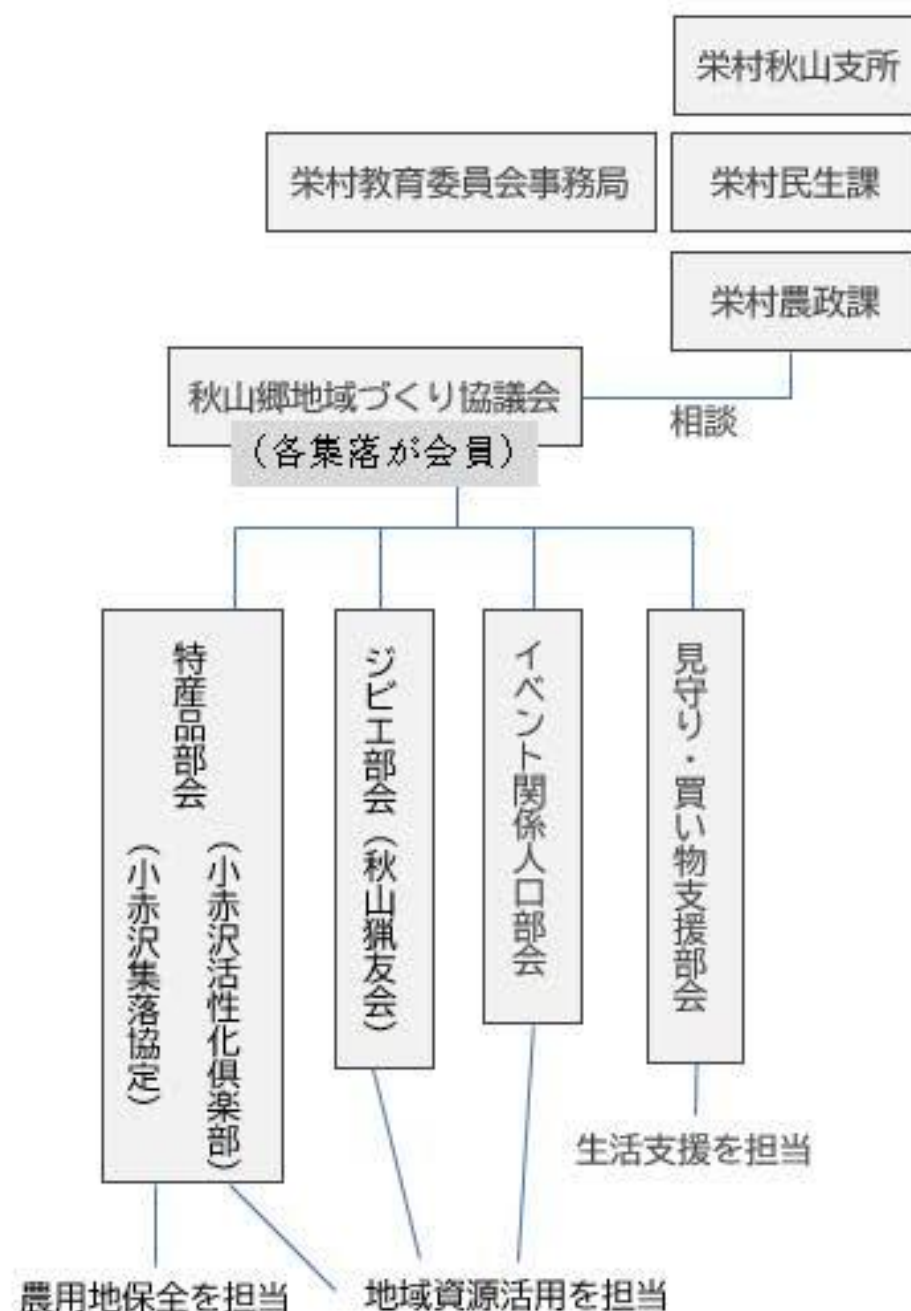
みんなで助け合い、新技術も活用しつつ、一生秋山で安心して暮らせる地域づくり。



2. 関係相関図

R6RMO 補助金報告時に右のような形で国に提出しました。
ご確認ください。

R6 年度の代議員会で、R7 年度からのジビエ部会の活動、特産品部会の活動に関しては、ジビエ部会は秋山猟友会、特産品部会は小赤沢活性化倶楽部（と小赤沢集落協定）が実質的に行っているため、2 部会の会計に関しては、協議会の会計を通さず行うこととなりました。



3. 農村 RMO 補助金で行った事業のまとめ

※伝聞も含め事務局側で把握できたことを書きましたので皆さんの認識と違う場合は遠慮なく訂正をお願いします。「これもやったよ」などあれば追加をお願いします。

【全体的なこと】

○将来ビジョンの作成（1. をご確認ください）

【農用地保全に関すること】

○農用地についての話し合い、農用地図の作成（R4.R5）

⇒現状のマンパワー不足も鑑み、耕作は現状維持とし、これ以上休耕地を増やさないよう努めることとなった。



○休耕地で育てる作物・「獣害に合わない」作物の選定（R4.R5）

ソバ、クロモジ、キクイモ（からいも）、紫黒米、やまなしなどいろいろと検討した。（特産品開発も含めて考えた）

○そば栽培の開始、キクイモ栽培の開始

休耕地を利用し、R5 にそば栽培を開始、R6 にキクイモ栽培を開始した。



【地域資源活用に関すること】

○ビューポイントの整備（R5）

上野原集落の天池周辺で危険木の伐採や間伐、倒木処理を行った。

⇒ビューポイント整備はほかにも候補地が上がったが、地権者との折り合いや短期的な収益につながらないことから、現段階では継続困難とし、休止。



○そば栽培及びソバ打ち教室の開始（R5 から）

⇒オヤマボクチとふのりをつかったそばの普及を復活させるため、R5 年からソバ打ち教室を開始。最終的には地域内でそば処を作っていきたい。



○キクイモ栽培の開始、キクイモチップスの作成（R6 から）

○秋山ジビエ加工センター「ぶんごろう」の設置及びジビエ加工開始
（R4 から工事等開始）



○そばとジビエを食べる会開始（R5 から）

地域内及び地域関係者への活動の知名度を上げるため 3 月～4 月ごろに開催。



○「ぶんごろう」およびクロモジ精油・精製水、キクイモチップスのロゴやパッケージ作成 (R6)



1 歴史について



秋山郷のマタギは江戸時代に秋田マタギが獣を追いかけて、この地にたどり着いたことから始まりました。マタギは獣を獲るだけでなく、山の魚や植物を巧みに利用・保存し、食べ物や衣や住に、そして薬としても扱い販売するなど、自然資源利活用の「ジェネラリスト」として暮らしてきました。そこから 250 年、秋山郷では今でもその精神と技術を受け継ぎ、山の恵みとともに生きています。



2 ぶんごろうとは？

ぶんごろうの名は信州秋山郷のマタギの祖である「山田文五郎」からとっています。文五郎の思いや暮らしを未来へ繋げていくという思いを込めました。



3 ジビエの活用

本施設では熊を中心に鹿・猪を取り扱っています。近年、気候変動や生活の変容もあり、秋山郷でも他の地域と同様に獣の個体数や農作物等の被害の増加など、自然とのバランスが崩れ始めています。バランスを保てるように、受け継いだ技術を活かし、清浄な精肉や、骨、皮などすべての資源の利活用に勤めています。

加工品の開発

ペット用のジャーキー（肉・骨）やソーセージ等の加工品も開発中です。原皮や毛皮もお気軽にお声掛けください。



利用の推進

秋山郷の旅館や民宿では、ジビエ肉を活用した料理を味わうことができます。マタギ文化も体感できますので、ぜひ一度秋山郷を訪問ください！

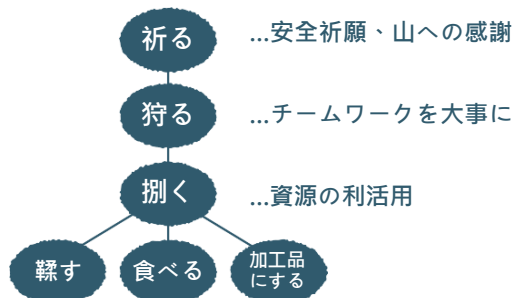


ぶんごろうが大事にしていること

私たちは山を敬い、山の動植物と共に生き、その恵みをいただきながら暮らしを営んでいます。共に生きる獣連の中でも熊は特別で、私たちは熊を獲ることを「熊の仲間になる」と言います。また、狩りの前後でお祈りをする、毎年 2 月には山の神に豊猟・豊作や安全を祈る「十二講」という供養祭を行うなど、自然と共にあることが日々深く根付いています。その様な自然と共に生きる思いや考え方を後世に残していくためにも、ぶんごろうではただ食肉としてジビエを消費してもらうだけでなく、マタギ文化を含む秋山郷の文化や風景をジビエ肉にのせて発信していきたいと考えています。そして、私たちの肉を通じて、自分が口にする食べ物の背景に思いを馳せ、自然や命の在り方について考えるきっかけになればと願っています。



狩の手順



About
BUNGORO
& the MAP

長野県 栄村
秋山郷



秘境のマタギは、山の恵みと共に生きる。

秋山郷ジビエ加工センター

ぶんごろう
BUNGORO

<お問い合わせ>

長野県下水内郡栄村小赤沢
(番地なし)
秋山猟友会

信州 秋山郷の「秘境のマタギ」、秋山猟友会。
マタギの文化や歴史を
その肉と共に伝えたいと考えています。

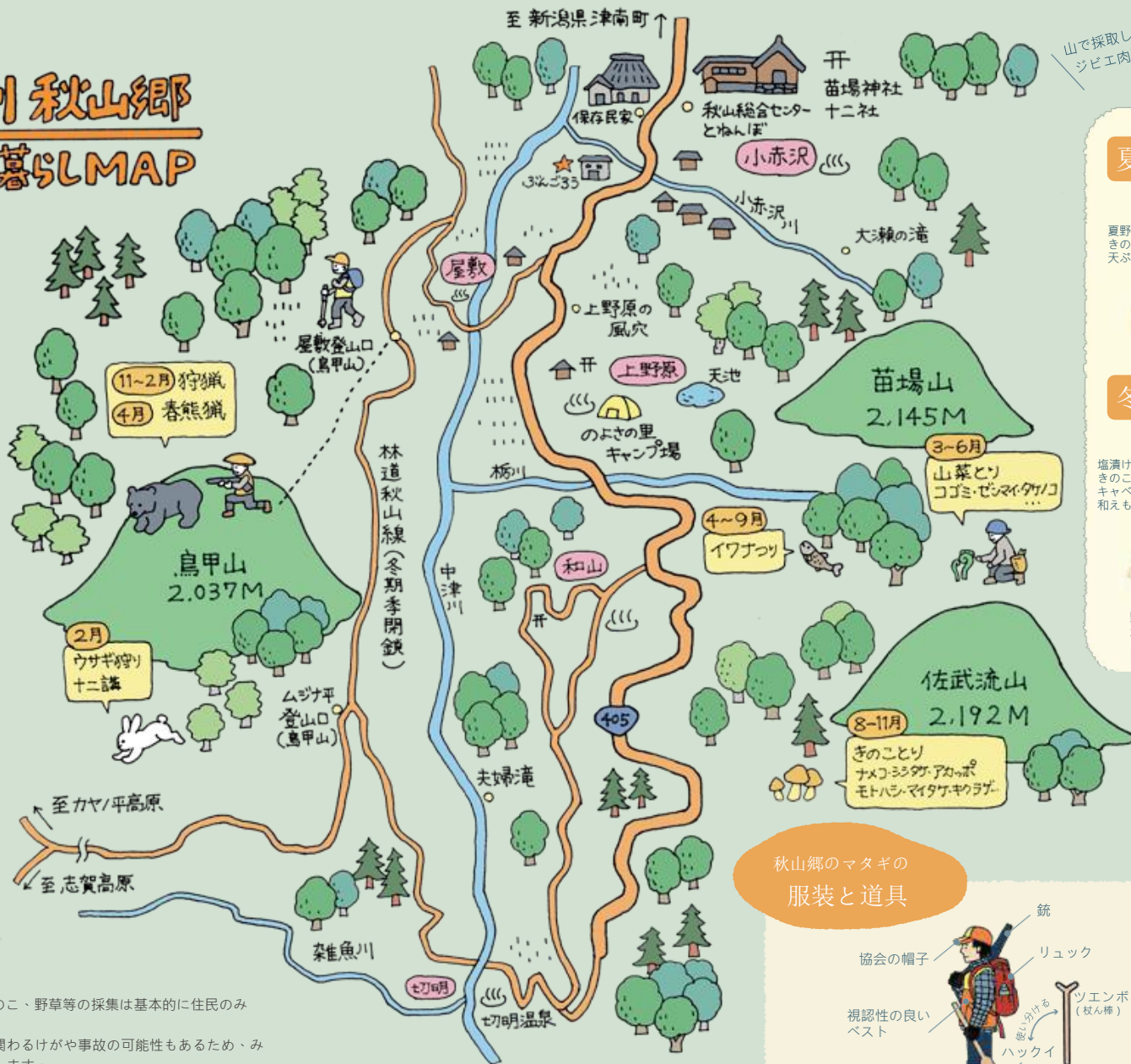


信州 秋山郷 山での暮らしMAP

秋山郷のマタギの 年間スケジュール 一例

- 1月 狩猟
- 2月 ウサギ狩り
十二講
- 3月 春の準備
除雪が終わる
- 4月 春熊猫
山菜採り
保存加工
タケノコ採り
- 6月 畑仕事
- 7月 イワナ釣り
- 8月 罾猫 (有害駆除)
- 9月 きのこと採り
保存加工
- 10月 木の实拾い
(栃の実など)
- 11月 秋猫
冬の準備
- 12月 狩猫
除雪の始まり

※ 山の資源保全のため、山菜やきのこ、野草等の採集は基本的に住民のみとなっております。
また、山はほぼ私有地です。命に関わるけがや事故の可能性もあるため、みだりに立ち入らないようにお願いします。



山で採取したきのこや山菜・ジビエ肉満載の料理です。

秋山郷の
おもてなし料理
一例

夏



冬



秋山郷のマタギの 服装と道具



【生活支援に関する活動】

○住民生活に関するアンケートの実施（R4）

⇒ビジョン作成につなげるとともに、現状の課題や思い等を把握した。

○役場民生課、生きがいセンター、社協と協議（R5）

⇒村事業や秋山で実施している事業や実態の把握。

介護が必要になると村外の施設に入るなどし、地域内の事業対象者が少ないことや、施設スタッフの年齢が高齢化している。

協議会としては可能な範囲の支援を検討していきたい。



○ICT 見守り機器導入検討（R5）

⇒維持経費が多額になるため、協議会単独での導入は難しい

○買い物支援の試行（R6）

⇒メルシー大割野の移動販売に合わせ、冬期間自家用有償運送を利用した送迎の試行を行ったが豪雪もあり利用者ゼロとなった。

※ 無料送迎 ※ 秋山郷地域づくり協議会からのお知らせ

メルシー大割野の
小赤沢の移動販売所
に行きませんか？

2月の毎週金曜日 朝9時20分ごろ
(2月7日、14日、21日、28日)
小赤沢 福原商店前の移動販売所まで無料で送迎
します。帰りもお送りします。

申し込みはこちらまで（前日までお電話ください）
電話
※近金曜日、朝9時から、小赤沢にメルシー大割野
の移動販売車が来ます。雪の多い冬の買い物支援の
ためお試して送迎をすることにしました。利用が多いと今
後も続くかもしれません。ぜひご利用を！

「はい、ええ、送迎してもらえると助かるわー」
お問い合わせ 秋山郷地域づくり協議会 屋敷

【補助金は利用していないが新たに始まった取り組み】

○「協議会だより」の発行（R6より）



○「タケノコ汁を食べる会」の開催（関係・交流人口の増加につなげたい）

○若者ワークショップの開催（協議会活動の周知・若者意見の取り込み）



目次

- ・ 秋山郷ってどんなところ？
- ・ なんで協議会ができたのか？
- ・ なんで農村RM0推進事業を活用したのか？
- ・ 3年間の活動
- ・ **活動を継続するにあたって（課題など）**
- ・ そしていま

活動を継続するにあたって補助金後に変えたこと

部会活動の運営・会計を協議会自体の運営から切り離し、独自でやってもらうことにした。

協議会としては活動の把握のみ。

話し合い中にやりたい！という事が出てきたら大枠を決めてあとは個別にやってもらう方式。

協議会の運営は集落から代議員を出してもらい
2か月に一度ほど代議員会、
代議員会の前に、協議内容を打ち合わせる
代議員会運営委員会（会長・副会長・議員・事務局で構成）を開催することで構成。

規約上代議員会運営委員会や会長に決定権はない

↑

代議員や運営委員会が全部把握して指示していくのは無理なので、部会は独自運営でよいのでは？となった。

課題

- ・ 事務局の不在
 - ⇒ 地域に運営事務を担える人材が不足
 - 意外と役割が多い。
 - ・ 活動資金のなさ
 - ⇒ 部会活動を切り離したので「協議会」としては各戸から1000円ずつ頂いているのみ
- ⇒⇒ 地域おこし協力隊の活用で何とかクリア
- でも継続していくには協力隊が来てくれる地域の魅力を継続的に振り返り確かめ、更新していく必要が…。

課題

- ・地域住民にまだ協議会の活動が浸透していない

⇒地道に頑張るしかない？

「協議会って何やってんだい？」というこえがあり、便りを配り始めたが…。

課題

- ・協議会内部（代議員）でも目的やビジョン、運営方法の考え方のずれがある。

⇒区長会の解散や補助金申請もあり、十分な話し合いが行われないまま設立。

ビジョンの策定も行ったが方法について策定時に揉めて引きずっている。

- ・ 地域住民にまだ協議会の活動が浸透していない
- ・ 協議会内部（代議員）でも目的やビジョン、運営方法の考え方のずれがある。

⇒個人的には補助金をもらえるうちにどれだけ上記2点を詰められるかにかかっている気がします。

ファシリテーションを客観的・ポジティブにできる人が必要

目次

- ・ 秋山郷ってどんなところ？
- ・ なんで協議会ができたのか？
- ・ なんで農村RM0推進事業を活用したのか？
- ・ 3年間の活動
- ・ 活動を継続するにあたって（課題など）
- ・ そしていま

農作物やジビエ等は進めつつ…

新たな？イベントの開催も



第3回

いっさいがっさい

一再合祭

開催のご案内

秋が日に日に深まり、冬の足音が聞こえてきました！冬支度の季節となり忙しいとは思いますが、久々に秋山のしょが一堂に集まって、みんなで思い出話やこれからの秋山郷について、「しゃべっちゃ」をしませんか！？

今回は、秋山の若い衆が中心になって、楽しい企画も用意しております。みんなでワイワイ・ガヤガヤと深まる秋の一日を楽しみましょう！

送迎の車も出ますので多くの皆さんの参加をお待ちしております！

日 時：令和7年11月9日（日） 10時～

場 所：栄小学校秋山分校

持 ち 物：参加費500円・汁用のお椀



*お昼をまたぎますので必要な方は、おにぎり等を持参ください。

【送迎について】

送迎を希望される方は、必ず各集落の区長さんに前日までに連絡をお願いします。出発時間は、各区長さんにご確認ください。

【お知らせ】

チェーンソーの目立て講習会を企画しておりますので、希望する方は、チェーンソーを持って来てください！

みんなが笑顔で楽しむ一日にしよう！



一再合祭のプログラム



秋山郷のそば粉で！
手打ちそば体験の巻！
【10時～12時】

講師：



自分で打ったそばをお昼に食べましょう！
やってみると意外と楽しいそば打ち！
みなさんの参加をお待ちしています！

チェーンソーの目立て
コースターづくりの巻！
【10時～14時】



講師 謝 樹
愉快な山師

チェーンソーの目立てのコツを特別に教えちゃいます！チェーンソーを忘れずに！！
自分オリジナルのコースターを作ろう！

冬も元気でたっしゅで！
体育館で運動しようの巻！
【10時～12時】

食欲の秋だけではなくありません！
運動の秋でもあります！！
みんなで楽しく運動しましょう！
どんなことをやるのか…
当日のお楽しみ！！



食欲の秋！
秋の恵みに感謝！
食べて楽しむ交流会の巻
【12時～14時】

自分で打った、人が打った手打ちそば！
わけしょ特製の豚汁・イワナの塩焼き！
お茶・ジュース・アルコールもあるよ！
食べて・飲んで・語って、みんなが久々に会えて良かったねと言える交流会をしましょう！
*一緒にお手伝いの方も大歓迎！
*飛び込みの一発芸も大歓迎！



予定が変更する場合もありますので予め、ご了承ください！限られた時間では、ありますが皆さんで秋の一日を楽しみましょう！





まだ地域内の活動が多いので、それをどれだけ外の方も巻き込みながら広げていくことができるかがこれから大事なのでは。と個人的には考えています。

でも具体的な動きになるとなかなか難しい。

ご清聴ありがとうございました

苗場山にぜひお越しを！
7月中下旬がおすすめです。
登山は3～4時間
下山は2～3時間目安です。